

## 2020年度 第1回 ブロック会議開催

### 日本経済の好循環と企業の成長を確実なものにしよう！

今春季生活闘争に向け、東日本ブロックと西日本ブロックの合同ブロック会議、中日本ブロック会議、北海道ブロック会議が開催されました。今号では各ブロックからの報告を掲載します。

印刷労連の2021春季生活闘争は「日本経済の好循環と企業の成長を確実なものにしよう！」をスローガンに、日本経済と企業業績の成長を確実なものとするための印刷労連の果たすべき役割の考えを継続し、「賃上げ」「一時金」「労働諸条件改善」の3本柱に加えて「労働環境の整備」を求めた総合的労働条件改善へ取り組むとしています。

**2021 春季生活闘争**  
 日本経済の好循環と企業の成長を確実なものにしよう！

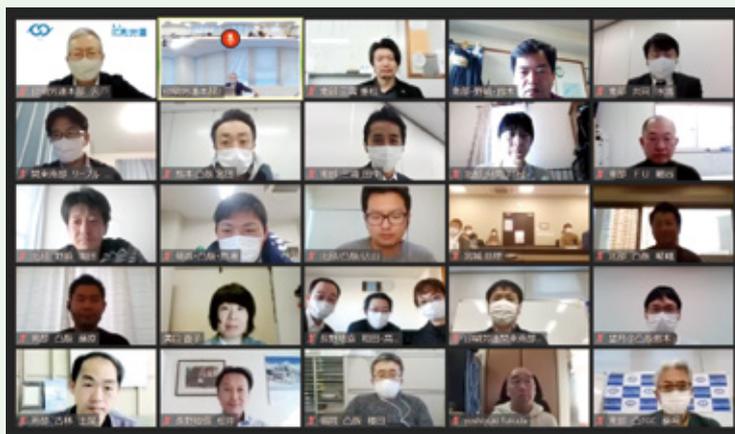
賃上げ 4%	賃金カーブの維持 2%
一時金	底上げ、底支え、格差是正 2%
	年間 4か月基準
	季別 2か月基準

**絆**

印刷情報メディア産業労働組合連合会  
 〒105-0014 東京都港区芝2-20-12 友愛会館16F  
 TEL. 03-5442-0191 FAX. 03-5442-0219 http://www.pimw.jp/

## 東日本・西日本ブロック合同会議

去る2月6日(土)13時から、初めてとなる東日本・西日本合同でのブロック会議を開催いたしました。当日は16構成組織がオンライン上で一堂に会し、各構成組織の取組報告や相互の意見交換を行いました。前段、大卒労働条件委員長から、取り巻く日本経済、印刷産業の状況、また「生活・就労アンケート」の結果も踏まえた、今次春闘の要求方針のポイントが力強く発信されました。



<出席者 集合写真(一部)>

開催タイミングもあり、まだ多くの構成組織は具体的な要求の絞り込みに至っていないようでしたが、大変参考になる場であったことと思います。印刷業界は、対面や移動を伴う業界程の厳しさは無いとはいえ、ペーパレスの加速など、決して予断を許さない状況にあります。コロナ禍の中、今次ほど、春季生活闘争の真価が問われる年は無いといっても過言ではありません。印刷業界として「賃上げのモメンタム(勢い)を決して止めない！」コロナ禍を克服し、将来世代にも希望がつかせる印刷職場を実現しようではありませんか。

【関東南部地方協議会 議長 高橋康】

# 中日本ブロック会議・セミナー

1月30日(土)に第1回中日本ブロック会議を本部よりリモートで参加いただいた大窄副中央執行委員長、穴戸中央書記長の2名を加えた36名の参加者のもと開催しました。

今回はコロナ禍の影響から単日開催とし、各地協の拠点または自宅などからリモートでの参加となりました。

当日は、墨愛知地協議長による代表者挨拶を皮切りに、大窄副中央執行委員長より「印刷労連 2021 春季生活闘争方針」「コロナ禍での春闘交渉における注意点」のご説明をいただきました。

その後、「コロナ禍における各構成組織の状況共有」を実施し、各構成組織より現状を説明いただき、参加メンバーで意見交換を行いました。



<代表者挨拶 墨議長>



<方針説明 大窄副中央執行委員長>



<出席者 集合写真>



## 体験セミナー RIZAP オンラインセミナー



今回のセミナーは体験セミナーとしてRIZAPによる「オンラインセミナー運動編」を企画しました。オンラインセミナーということで会議の参加者以外に各構成組織の組合員にも参加の枠を広げ、組合員ならびにそのご家族にも参加をしていただきました。セミナー中はチャット機能を活用し、講師との個別の質問等も行い、コロナ禍での運動不足の解消、日頃のストレスの発散もすることができました。

【大阪地方協議会 議長 石山浩司】



～それぞれの地方協議会の様子～



<大阪地方協議会>



<京滋地方協議会>



<石川地方協議会>



<愛知地方協議会>

# 北海道ブロック会議

北海道地協では、コロナ禍での活動や各構成組織の状況や考え方を鑑み、2020年度第1回北海道ブロック会議をメール持ち回りにて開催しました。

北海道地協は、「face to face」の活動を第一としておりますが、こういった状況下でもメールとはいえコミュニケーションを図る事は重要と考え、開催に至りました。

各構成組織で幹事まで内容を共有頂き、2021春闘方針の確認が行われコロナ禍でそれぞれの状況に応じた対応が必要な事も確認しました。【北海道地方協議会 議長 鈴木啓之】

## 関東北部地方協議会 組織交流会



### Hawaii Tour from Home



新型コロナウイルスの影響で一堂での活動や交流が難しい中、PC（Zoom）を活用した組織交流会「ハワイオンラインツアー」を1月31日(日)に開催し、34家族（延べ83名）の方々にご参加いただきました。

冒頭には嵯峨議長からの挨拶で、印刷産業を盛り上げていくべく、相互に連携をとって活動していくことを共有しスタートしました。

「ハワイオンラインツアー」では、近畿日本ツーリストをホストにハワイの現地スタッフの方に常夏のハワイを案内していただきました。ワイキキビーチに始まり、カピオラニ公園、カメハメハ大王像をチャットでの質問コーナーや現地からのクイズも交えながら観光しました。途中のカカオアのウォールアートでは各自同じ壁紙を利用し、現地と同じ背景で記念撮影しました。

また、よりハワイを感じていただくために事前にハワイ料理の食材を宅配し、当日に各自でロコモコやガーリックシュリンプを調理していただき食べながらの観光もしました。

クライマックスでは、タンタラスの丘で夕日を見ながら、いずれは現地で見ると約束しこの日のツアーは終了しました。

各構成組織でコミュニケーションを目的としたイベント開催が難しい状況です。その中でオンラインの可能性を垣間見た良い経験となりました。【関東北部地方協議会 議長 嵯峨友成】



<参加者 集合写真>



<オンライン観光的一幕（カハナモク像）>

# 第22回 UNI-LCJ 年次総会・記念講演

2021年2月15日(月)、第22回 UNI-LCJ 年次総会がオンライン併用で開催されました。運営委員である佐藤中央執行委員長と総会代議員として古賀が会場にて出席し、オブザーバーとして、大塚副中央執行委員長、宍戸中央書記長が Web にて出席しました。コロナ禍での2020年度活動報告、会計報告等の承認、および2021年度活動計画及び予算が承認されました。また役員改選では、松浦 UA ゼンセン会長が UNI-LCJ 議長に再選され、事務局長としては新たに森川容子氏が選出されました。

その後の記念講演には Web 含めて100名が出席し、主催者代表・松浦議長からの挨拶では、UNI や UNI Apro がコロナ禍においても組織化や、エッセンシャルワーカーや弱い立場にある労働者のために取り組みを続けてきたこと、今後もパートナーシップ労使関係を大切にしながら労働運動を発展させていく決意がありました。来賓挨拶として、厚労省・井内総括審議官より Web にて、神津連合会長からはビデオメッセージが送られました。講演では、オンラインにてスイスからクリスティ・ホフマン UNI 書記長、ネパールからラジェンドラ・アチャリヤ UNI Apro 地域書記長より「ウィズ/ポストコロナの国際労働運動」と題しお話をいただきました。



〈事務局長 森川容子氏〉



コロナ禍におけるエッセンシャルワーカーの労働条件改善に向けたキャンペーンの取り組み、リモートワークやリストラの課題への取り組みを進めていくこと、アジアにおけるミャンマー、香港、フィリピン等で民主主義が危機に瀕していることにも触れられ、UNI Apro と緊密に連携しながら国際労働運動全体として弾圧されている人々の支援に全力を挙げると強調されました。また、UNI Apro はワンチームとして、コロナを克服し、より良い復興に向けて、政労使の議論に積極的に参画していきたいとの決意が語られました。

【副中央書記長 古賀初代】

働くを支える 暮らしに備える 生活を豊かに

☆印刷労連 ☆こくみん共済 coop ☆労働金庫

「たすけあいの輪をむすぶ」  
こくみん共済 coop は、次のステージへ

こくみん共済	即修生命共済	住まいる共済
総合健康共済	せいのけい共済	交通災害共済
マイカー共済	自動車共済	車セット旅行共済

こくみん共済 NEWS  
公式キャラクター  
ぞんけん

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済 金労連

「こくみん共済 (coop) は営利を目的としない協会の形態として労働者を主眼、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心と生活の安定を第一に活動することを目的としています。この精神に基づき、品質を重んじながら、居住環境は労働者の共済生活の拠り所となることで各種共済制度をご利用いただけます。」

読んで ロッキー！  
ろうきんって何？

ろうきんは、はたらく人のための金融機関って  
いうけど  
それって  
どういうこと？

ろうきんの成り立ち

はたらく人たちの  
ゆとりとゆたかさの実現に向け、  
はたらく仲間がお互いを助け合う  
ためにつくった金融機関

はたらく人の  
生活によりそった  
商品・サービスが  
いっぱい！

ろうきんは、あなたに合った商品・サービスや、就業環境の改善を提案してくれます！  
https://all.rokin.or.jp/info/ 見てろうきん

## — 編集後記 —

コロナ禍となり1年余りを経るなか、新たなスタンダードが次々と生まれてきています。今回の「NETWORK」の記事にもある通り、各委員会・会議に加え、イベントやセミナー等もオンラインでの開催が少しずつ始まりました。当面、集合形式でのイベントは難しいことが想定されます。まだまだ試行錯誤の段階で失敗もあるかもしれま

せんし、環境を整えてこれからというところもあるかと思えます。必要に応じて、上記のオンラインイベントなどを参考に取り組んでいただき、ソーシャルディスタンスで離れてしまっている組合員のネットワークづくりの支援をしていただければと思います。

教育・広報委員会 藤原隆之